発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)5400番
平成18年7月1日発行
第369号
○右の題字は「徳富蘇峰さん」の額を写したものです。

津奈木

交流いもほり

幼・老・連携の教育

教育の昨今、幼小中連携が叫ばれていることはご存知のことと思います。教育は、学校や幼稚園だけではできません。何等かの機関、若しくは団体と連携しないと教育効果は挙げられないようです。幼稚園では老人会の手助けを受けながら老人の経験を生かし積極的にふれあっています。

子どもは、「地域の宝」として地域の一人ひとりが子どもたちに笑顔で語りかけ、安全に気を配ったり、決まりを教えたりして、よりよい地域社会環境となるよう心がけるとともに、地域の教育力を高め、「地域の子どもは地域で育てる」再認識して、様々な社会体験・自然体験ができる場、世代交流の場を提供し、地域社会全体で子どもを育む力を高める必要があると思います。

一言

田植シーズンになり各農家も多忙の日々が続いている今日今頃です。

兼業農家にとっては、休日を利用しての農作業の為、大変天候が気掛りです。しかし現在は機械化が進み田植から稲刈りまで水田に直接足を踏み入れる必要がなくなり一人で農作業ができる世の中になってしまったように思われます。

以前は早く終わった家庭が遅れている隣りへ加勢に行ったりしたものです。そして田植が終わった農家では、「早苗振り」として赤飯を炊き近所へ配って廻っていました。

農作業の後疲れた体を癒しに「四季彩」温泉はとてもよいです。

湯質は勿論大変良く、特に低周波浴は腰痛等に効果があります。またサウナに入り世間話をするのも楽しいものです。夕日を眺めながら展望露天風呂に入り町内を一望し、津奈木町の自然の恵みの有難さを再認識してみては、いかがでしょうか？

四季彩ファン

子ども美術館(38)

（十七年度文化協会奨励賞作品）

「神社」
津奈木中1年　前田　ゆいこ

「給食を作るのすごいな」
津奈木小1年　ひさむら　けんと

平成十八年度 社会教育団体役員紹介

津奈木小学校PTA
会長　新立　豊
副会長　坂本　輝一
〃　森山　倫子

赤崎小学校PTA
会長　林田　良治
副会長　吉野　芳美
〃　上村　光代

平国小学校PTA
会長　野崎　昭三
副会長　山口　哲也
〃　村上　恵

津奈木中学校PTA
会長　浦口　信弘
副会長　山崎　泉
〃　小野田　寿
〃　野崎　久子

PTA連絡協議会
会長　林田　良治
副会長　新立　豊
〃　会長　野崎　久子
顧問　淵上　正信
監査　浦口　信弘
〃　坂本　輝一
書記・会計　吉野　芳美

老人クラブ連合会
会長　松原　保男
副会長　新立　和市
〃　津田　良子
〃　野崎　昭子
監査　永田　正人
〃　河村　敏彦
事務局長　金子　靖

津奈木校区婦人会
会長　石田ミサ子
副会長　塩山　順子

赤崎校区婦人会
会長　伊藤セイ子
副会長　吉野　芳子

平国校区婦人会
会長　福山　二子
副会長　村上真由美

津奈木町連合婦人会
会長　石田ミサ子
副会長　福山　二子
書記　塩山　順子
会計　伊藤セイ子

津奈木町青年団
団長　坂口　信行
副団長　坂口　誠
〃　山路伸一郎
事務局長　汾陽　孝基

お知らせ

7月行事（予定）

9日(日)　島田洋七講演会
午後1時半開場、午後2時開演（つなぎ文化センター）
お笑いコンビ『B&B』洋七の〝楽しい人生の過ごし方〟（入場料三千円）

18日(火)～8月4日まで
泳げない子どもの水泳教室
詳しくは、後日各学校及び教育委員会へ、お問い合せください。

21日(金)　町内童話発表大会（つなぎ文化センター）
優勝者は郡市大会へ町代表として出場します。

8月行事（予定）

7日(月)　芦北・水俣地区童話発表大会（水俣市公民館）

13日(日)・14日(月)・15日(火)
町民体育祭・野球・競舟大会

編集後記

六月は、日本中がサッカー漬けになることでしょう。深夜放送になることが多いと思います。「身のほど」を考えて楽しく応援したいと思います。

マスコミ報道を鵜呑みして、期待外れにならなければ？少々危惧しています。

日本のグループは強豪揃いだったので残念ながら予選通過はできなかった。

選手の無念さは痛いほどわかりました。気を取りなおして今後の練習に頑張ってもらいたいものです。

人権啓発ポスター

『食育シリーズ』(2)

朝食のススメ

さて、前回食事と心と体の関係についてお話しましたが、今回は一日のスタートである朝食について触れてみたいと思います。

「活動モード」と「休息モード」

毎日すっきりと目覚められたら、朝から自分の能力をフル回転させられたら、どんなにすばらしい事でしょう。朝食を利用することによって、これが実現できるかもしれません。朝食の役割はエネルギーの補給だけではないのです。

私たちの生活は、昼間の「活動モード」と、夜寝ている間の「休息モード」の繰り返しです。活動モードで能力をフルにいかして活動し、その疲れを休息モードで十分とって次の日に備える。本来はこうなっているはずなのです。

“楽しい朝食”

しかし、この2つのモードの切り替えがうまくいかないことも多いようです。夜、なかなか寝付けず、疲れが取れないまま朝を迎える。疲れが残っているので勉強（仕事）が手につかない。能率が上がらないので時間がかかる。場合によっては仕事を翌日に持ち越すことになる。ストレスをかかえたまま床につくので、再び眠れない夜を迎える。こうならないためにも、モードの切り替えをきっちり行うことが大切です。

【毎月19日は食育の日】

瑞宝小綬章

山下　和氏（古川）

公立高校教員として永年に亘って教育の振興に貢献されたことが認められて瑞宝小綬章受章されました。先生は常日頃から「みんな仲良く、職場は明るく」が信条と語っていただきました。ご自身の名前のとおり「和（かのう）」和を以て貴しと爲す。

瑞宝単光章

伊藤冨男氏（赤崎）

福浜港の〝灯台守〟として海の安全を見守りつづけた功績について受章されました。四十数年に亘って雨の日、風の日も続けられました。〝継続は力なり〟、まさしく地道なことだけれど大変だったと思います。改めて〝お目出とうございます〟益々の御活躍を期待すると共にご健康を祈念します。

津奈木校区婦人会総会開催される

平成十八年度、婦人会総会が、去る五月三十一日開催されました。来賓として西川町長が出席されて町政全般に亘っての講話がありました。参加者は会議室にほぼ満杯でした。町長の熱のはいった話にうなづいておられました。

役員改選などすべての議案が承認されました。役員名は、館報の社会教育関係者名をご覧ください。

“津中一日一汗”全員頑張った

津奈木中学校では、六月十二日(月)の六校時に、勤労や奉仕の大切さを学ぶため、一日一汗運動を行いました。

一年生は、津奈木川周辺の清掃とグループホームの窓ふき。

二年生は、神社周辺の草刈り、ゴミ拾いと駅周辺の清掃。

三年生は、あけぼの苑やB&Gの清掃と文化センター周辺の清掃を行いました。

美化委員長の感想

私はあけぼの苑に行き、窓ふきをしました。普段、地域の方々にお世話になっていますので、地域に貢献できるよう頑張りました。十分な活動ではなかったかもしれませんが、これからも津奈木町に感謝し、私達にできるボランティア活動を推進して行きたいと思います。

生活作文「たべもの日記」

平国小三年　長濱　未来

四月十五日

今日から一か月くらい食べもの日記を書きます。今日の夕ごはんは、ジンギスカンでした。はじめて聞いた食べものの名前なので、食べる前ドキドキしました。中国の食べものと思って、あまり手に入らない食べものと思っていました。

わたしがたくさん食べたぐは、うどんめんでした。ほかのぐも、おいしかったです。めったに食べないと思ったので、しっかり味わっておきました。

四月三十日

今日の夕ごはんは、白ごはんとオムレツと貝のおみそしるとサラダと中かのミートボールでした。一番おいしかったのが、オムレツでした。たまごがプルンプルンしていてとてもおいしかったです。中には、わたしの大すきなお肉が入っていました。中かのミートボールはひさしぶりに食べました。ミートボールのプルプルかんが、とてもおいしかったです。

五月二日

今日の夕ごはんは、しょうがやきでした。しょうがやきのお肉に、しょうががベタッとついていてとてもおいしかったです。しょうがやきのたれがかかったごはんが、とてもとてもおいしかったです。

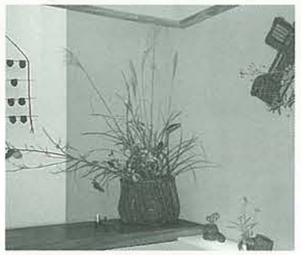
ここに、こんな人が・・・・

かずら工芸家

坂本れい子さん（倉谷）

大変お忙しい方とお聞きしていたので早朝に在宅？確認してからお伺いしました。ご自宅の庭先は、草花、野菜、果物と様々な家庭菜園で一杯でした。

先ず、土間兼応接間に案内されてみると、つづら工芸の作品が目につきます。



つづら工芸への動機をお尋ねすると（転勤族のため）八代で、友達づくりという軽い気持ちで習い始めました。それが病みつきで、熊本に転勤されてからも友だちづくりもさることながら、つづら工芸にのめり込んでいかれたようです。原材料を採りに五木村や泉村まで出かけて採り一年間ぐらい乾燥します。そして製作に取りかかる時は水に浸して柔くして作り始められるそうです。大作になれば一週間ぐらいかかるそうでつづらに霧を打ったり、タオルをかけて乾燥を防いで作られるそうです。

また、趣味の一つにきもの着付け教室を開ける師範の免状も取得されているそうです。着付け教室はボランティア程度になさっているようでした。つづら工芸と野菜作りはどっちが楽しいですか？とお聞きしましたら、両方共「楽しい」と語っておられました。

趣味の工芸もご主人のご理解と協力がなければ「長つづきしないでしょう」と語っておられました。

随筆　森のはなし

山口　哲也（平国下）

私は木材関係の仕事に携わっております。この業界に入って早いもので二十年が経とうとしています。就職した当初は「バブル景気」も後半に差しかかった頃で、まだそこそこ景気も良く、なかなか良い仕事に就いたと自分なりに思っていました。

ところが、この好景気も終わり、例に漏れず木材業界も下落の一途を辿って行くこととなるのです。それ以後、多少の波はあるものの低迷期に入り、好転の気配も感じられず現在に至っている訳であります。この状況は、この業界に限っては全国的な傾向であり、私も関東に五年、その後地元に帰って来た訳ですが、まったく同じ様子でありました。

今、改めて考えてみますと、なぜこの風土に適した木材が日の目を見ないのか、古くより私達の先人が大切に育て残してくれた森林が荒れてきているのか、自問自答の日々であります。昨今、問題になって新聞の一面でも大きく報じられました、広範囲による伐採がなされ、その跡地に植林もされず荒れ果てたままの山林がここ数年、隣の人吉球磨地方を始め、私達の水俣芦北でも多く見られる様になってきました。それは先程、述べた通り景気低迷による木材価格の下落、それと外国産材にシェアを奪われた為の需要の落ち込みにより、大事に育て伐採した木材が経費をかけてやっても元を取るどころか採算割れを起こして、とても植林など出来ないと言うところにあると思います。私は思うのです。森林を大切に育てていかなければ、自然界のバランスが崩れ、海や川も汚れ、災害なども大いに起りうるのです。大事な森林を後世に残していくためにも、木の良さ、すばらしさを語り継いでいく必要があると考える、今日この頃であります。

短歌

本郷武雄選

つなぎ短歌会

庭に咲くこぶしの花にたたずみて
口ずさみおり「北国の春」
白浜美和子

母の日にあか紫のカーネーション
好みをしりて娘より届きぬ
福田八重子

同窓会催すと云ふ知らせあり
出席出来ぬ病む身はつらき
西川　ムキ

ひとすじに桜咲く道つづきいて
特攻通りと胸あつく聞く
西　滋子

地に這ひてひそと育ちしキラン草
在り処しめすがに紫小花
寺本ツルヲ

雨の日を咲きし緋の罌粟（けし）はかなげに
ひと日限りの花びら散らす
加来　道子

いく度の春はめぐりて君と見し
「相良とびかずら」遠き想出
野田　浦子

肥後狂句

先が心配
それで良かかい子のしつけ
ほくそ笑み
負けた振りして勝ってます
神無月

先が心配
出たとこ勝負ではってかし
ほくそ笑み
効果てきめん袖の下
宰　相

先が心配
山の手入れは誰がやる
ほくそ笑み
やっぱ根廻ししとかんば
寅之助

先が心配
憲法九条まもらなん
ほくそ笑み
湯の児の鼻でちんば釣り
達　生

先が心配
もうケンカさす若夫婦
ほくそ笑み
保険は掛くるしこ掛けた
万　葉

〔次回の笠〕
○それは無理　○味気なさ
一笠一句を　八月七日(月)迄
津奈木町教育委員会まで